

みがける鏡



表面



裏面

荒磯鴛鴦鏡

(あらいそおしどりきょう)

重要文化財 指定No.628

発見場所：勝山館跡

大きさ：直径 11.4 cm

時代：鎌倉～室町時代

(13後半～14世紀前半)

※実物大の1/3の大きさ

鏡みがき 無料体験

懸仏の用途

仏や神の像を
鏡面に取り付けたものを
神社やお寺に
奉納されていたとされる



如意輪観音像

(にょいりんかんのんぞう)

通称：六救さん

(六つの手で人々に救いの手を
差しのべるといわれている観音様)

※北海道で初めて発見された懸仏

はなざわだてあと

発見場所：花沢館跡 (令和2年度発見)

大きさ：高さ 10.1 cm 幅 5.3 cm

時代：室町時代 (14～15世紀)

※実物大の1/3の大きさ

みがける懸仏

こちらの懸仏みがきキットも
販売中です！

旅の安全祈願やお土産に
おすすめです。

勝山館跡から出土した銅鏡

花沢館跡から出土した如意輪観音像を

1/3 スケールにした

鏡・懸仏みがきキットも販売中！

(販売されている鏡と無料体験用の鏡は同じものとなります。)